

めがね産地 さばえが表明する 「原産国表示の運用の明確化」と 「MADE IN JAPAN, 風土 IN JAPAN」の地域づくり

日本国内のめがねフレーム製造の90%以上を占める、さばえ(福井県 鯖江市・福井市・越前町を中核とする集積地を指す)の企業200数十社で構成される(一社)福井県眼鏡協会(福井県鯖江市新横江2-3-4 会長 佐々木英二)は、先人が築きあげたMADE IN JAPANの価値をより高めていくために「原産国表示の運用の明確化」を徹底し、「MADE IN JAPAN, 風土 IN JAPAN」という活動指針を表明します。めがねづくりの営みを通して、地域の暮らし、自然、文化を育てていくとともに、風土からものを形づくりという循環を生み出していきます。

「原産国表示の明確化」

原産国表示の運用基準を産地内の共通ルールとして明確化します。

(一社)福井県眼鏡協会(以下、協会)は、公正取引委員会が定めためがねフレーム製造における原産国表示の厳守を目的として、協会に加盟する企業の基準認識を改めて確認し、産地内外に対して明確化します。

さばえのめがねづくりは、120年に及ぶ歴史の中で細かく分業化が進んできました。めがねが製品として完成し、流通し、購買者のもとに届くまでに複数の企業と人が関わります。そのため、個々のフレームに対して原産国表示を正しく行い、MADE IN JAPANの価値を守り、高めていくには、協会に加盟する200数十社が公正取引委員会が定めた基準の内容を深く理解し、遵守することが不可欠です。そこで、この度、協会では、企画・製造・販売企業にくわえて、材料・部品・加工・仕上げなどサプライチェーン各社に周知し、個々の会社が誓約書を協会に提出するという厳正な仕組みを設けました。

協会が「原産国表示の運用の明確化」を推進する背景には、他国で組み立て加工されたフレーム(公正取引委員会が定める原産国表示基準を満たさないもの)が、国内に輸入され、さばえで最終工程のみを施し、地域内を経由することで、MADE IN JAPAN表記がなされ、流通されることを未然に防ぐ目的があります。国内外ブランドOEM製品を含む、年間約1000万本(令和5年度総出荷額より算出)のフレームを製造するさばえは、MADE IN JAPANの正しい価値を構築し、魅力ある地域づくりを通して原産国、原産地ならではの風土を実感していただけるめがねづくりを目指していきます。

「MADE IN JAPAN, 風土 IN JAPAN」の地域づくり

地域の人々、暮らしが豊かになることを目的としたMADE IN JAPANへ。

一社)福井県眼鏡協会は、地域づくりを活動意義とします。

地域の豊かさを維持し、未来に向けて育むことで、地域固有の風土から生み出される素晴らしいめがねをつくり続けていきたい。これは、地域に根ざして営みを行う(一社)福井県眼鏡協会に加盟する全社の総意です。その旗印として「MADE IN JAPAN, 風土 IN JAPAN」という言葉に思いを込めました。

もともとさばえ地域のめがねづくりは、120年前、職人による様々なモノづくりが営まれてきた文化風習を土台にして農閑期の手仕事として始まりました。暮らしを豊かにしたいと願う先人たちの情熱によって様々な技術が築きあげられ、今日ではめがねづくりの営みを地域内で完結できるまでに成長を遂げました。その傍で、夏は水田を渡る風が涼を呼び、冬は雪の世界に覆われるなど、四季折々の自然に呼応した暮らしが生まれ、めがねづくりをはじめ農や工など様々な営みの中で地域の風土が培われてきたのです。この先、50年、100年にわたって、めがねづくりが継続、発展していくために、産地全体で品質と生産性の向上に取り組むことはもちろん、私たちのめがねづくりの原風景となる風土の持続と人の循環を生み出す未来を目指していきます。その実現に向けて(一社)福井県眼鏡協会は、地域の自治体や他の地場産業と一緒に地域づくりを進めていきます。地域の風土がものを形づくり、地域の営みを通して風土を育む。この考え方は欧米に端を発する原産地呼称本来のあり方に通じるものです。MADE IN JAPAN(原産国表示)及び、さばえ(原産地呼称)は、個々の企業が営業活動のために私的に用いるものではなく、地域の風土を維持し、未来につなげることで、そこから生み出されるめがねづくりをより良いものにしていくためのものであるべきです。そのためにも公正さのルールが必要であると考え、私たち協会は「原産国表示の明確化」と、「MADE IN JAPAN, 風土 IN JAPAN」の地域づくりをここに表明します。

令和7年9月
一般社団法人福井県眼鏡協会
会長 佐々木英二

ご取材・お問い合わせ先
一般社団法人福井県眼鏡協会 担当 伊藤・島村
電話番号 0778-52-9111 press@megane.gr.jp